

# Warabeya Nichiyō HLDGS.

第54期

## 株主通信

2017.3.1 &gt;&gt; 2018.2.28

### グループ理念

私たちは「安全・安心」と「価値ある商品・サービス」の提供を通じて、  
お客様の健康で豊かな食生活に貢献します。



安全・安心、価値ある商品・サービスを  
グループの力で作ります。



### Series

わらべや日洋グループの強みを探る !! ②

### [品質・衛生管理力]

1日あたり最大生産食数

# 600万食

品質管理のための検査数

# 1,200検体/日

## 世界トップクラスを誇る管理力を 食材の調達から、商品の製造、お届けまで徹底。

当社は創業から50年以上変わらず、「衛生管理の徹底は他のいかなる業務よりも優先する」を合言葉に成長してきました。

農林水産省が進める2020年までのHACCP導入義務化の動きを見据えて、2017年5月には中食業界の先頭を切って、日本発の食品安全マネジメント規格である「JFS-E-B」規格の適合証明をわらべや日洋(株) 浦和工場で取得しました。

今後、同規格を全ての工場に拡大することで、当社グループの品質管理と食品安全の一層の強化を図ってまいります。

徹底した  
品質検査



適合証明書



## 新たな環境のもとで 業務効率化と人材確保に努めながら、 お客様による喜んでいただける 商品づくりに邁進します。



代表取締役社長 大友 啓行

### 2018年2月期の業績・取り組み

これまで順調に推移してきた(株)セブン-イレブン・ジャパンの既存店売上高、来店客数の拡大や新規出店ペースに減速傾向が見られるなど、当期は厳しい経営環境にありながらも、「チルド弁当」の新商品投入などによる販売伸長が売上をけん引し、8期連続の増収となりました。一方、利益率の高い「おにぎり」が伸び悩み、原価率の高い「弁当類」が増えるという売上構成比の変化と、原材料費や水道光熱費の高騰などによって利益は減少しました。

そのような国内事業環境を踏まえ、当社グループでは当期に始動した海外事業部が中心となって海外展開にも注力し、昨年11月には米国テキサス

州でセブン-イレブン向けサンドイッチ製造・販売事業を手掛けるプライム・デリ社を子会社化いたしました。また、国内では工場における生産性向上の取り組みも継続し、機械化による省人化を推進するとともに、工場の再配置や効率的な投資に関する詳細な検討を進めたことも当期における収穫です。

### 本社移転の目的・効果

当社グループは、工場を中心に設備投資を毎年実施してきましたが、近年、本社でも新商品の研究開発や食品安全性確保のための人員を増強する重要性が高まってきたことから、都心部に本社機能を移して職場環境の改善を図りつつ、優秀な人材も集めたいと考えました。

新本社から千代田区の(株)セブン-イレブン・ジャパン本社へは車で10分足らずで行かれるようになり、小平市に本社のあった1月以前と比べて移動時間は大幅に短縮しています。

また、全国各地の工場からのアクセスも良好で、様々な局面で時間を効率的に使えるようになり、残業時間の削減にもその効果が表れています。さらに、本社移転を通じて特に強化したかった商品開発部門については、新本社ビル全11フロアのうち4フロアを割り当て、開発室のスペースも従来の約1.4倍に拡張しています。

先日、社員に新本社に関する満足度アンケートを実施したところ、業務環境は大変好評で、中でも最も満足度の高かったのが、レイアウトなどを若手女性社員が手がけた社員食堂「Wara Café」で



した。旧本社に比べ大幅にスペースを拡大し席数を増やしたこの食堂は利用率も高く、異なる部署の従業員同士のコミュニケーションも活性化しています。

当社の3つのコア生産機能は「商品開発力」「生産技術力」「品質・衛生管理力」ですが、今回の本社移転はこのうち「商品開発力」と「品質・衛生管理力」の向上に大いに寄与しました。今後は全国にある工場の施設を順次リニューアルするなどして業務環境の一層の改善に取り組み、「生産技術力」の向上も図っていきたいと考えています。

### 2019年2月期の見通し

現在、「お弁当」カテゴリでは20℃帯の弁当から「チルド弁当」へのシフトが進んでおり、2019年2月期も引き続き商品開発に注力してまいります。6月以降に、オムレツを切ると中身がふわっと広がる新製法の「ふわとろオムライス」をテスト販売する予定です。また、「おにぎり」のメニュー強化として、厳選米を使った新商品、一穀ごとに浸漬時間を変えて炊き上げた五穀米の商品も市場投入します。

一方、海外展開については、2020年4月以降にハワイで新工場が稼働する予定で、北京でも8月の稼働予定で工場の増築工事がスタートしました。各国で現地のセブン-イレブンと機動的に連携し、その国の市場ニーズに的確に応える商品開発に注力していきたいと考えております。

また、多様化する人材の確保・育成策として、今年1月から当社グループの人材派遣会社(株)ソシアリンクが神奈川県足柄上郡に開設した足柄研修セン



ターで、外国人技能実習生の教育研修をスタートしました。この研修では入国後1か月間にわたり、コミュニケーションや日本文化、さらに衛生観念などに関する中身の濃い教育プログラムを実施しています。人材難が叫ばれる現在だからこそ、こうしたインフラ整備にも注力し、外国人採用をさらに積極的に進めてまいります。

### 株主の皆様へのメッセージ

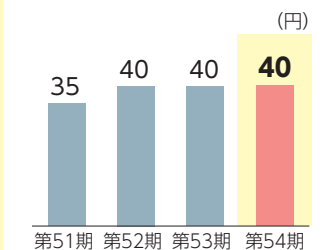
当期の期末配当については、予定どおり1株当たり40円とさせていただきます。株主の皆様には、今後も配当性向25%をめどに安定的かつ継続的な配当を実施していく考えです。そして、「連結ROE8%」という目標達成に向け、これからも安定的に収益を上げられる仕組みづくりに努めてまいります。

今回の本社移転によって働きやすく成果を出しやすい環境が整い、従業員の意欲も大いに高まっており、商品開発にさらに注力し、魅力ある商品を次々と生み出していけるよう尽力してまいります。株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます

1株当たり配当金

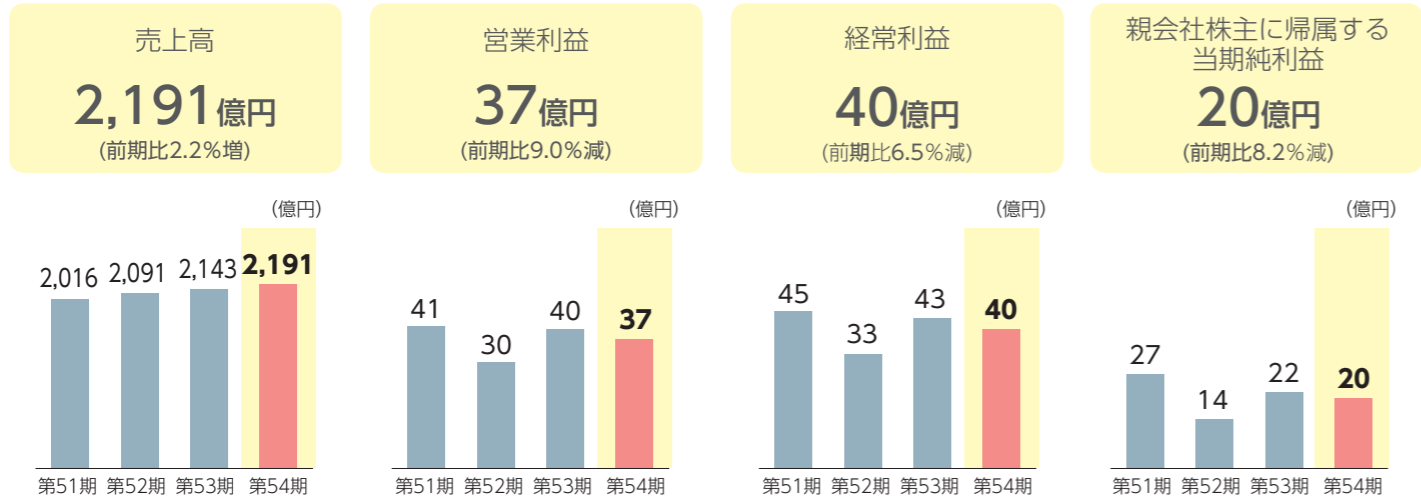
第54期

40円

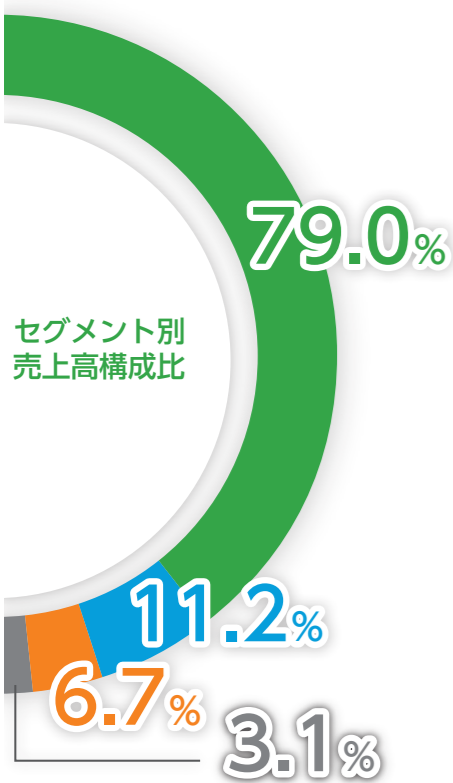




納品店舗数の増加などで増収



セグメント別の概況



**食品関連事業**

コンビニエンスストア向けお弁当・おにぎり・調理パン・惣菜等の製造販売。

売上高 **1,731** 億円 前期比 **2.9%** 増  
営業利益 **32** 億円 前期比 **1.3%** 増

**食材関連事業**

国内外からの食品用材料の調達・加工・販売。

売上高 **244** 億円 前期比 **0.5%** 増  
営業利益 **4** 億円 前期比 **2.4%** 増

**物流関連事業**

食品・食材等の仕分・配送、物流システムの提案。

売上高 **147** 億円 前期比 **0.4%** 減  
営業利益 **1** 億円 前期比 **34.0%** 減

**その他**

食品工場の建設から製造ライン・システムの企画・設計・施工、設備機器供給。人材派遣、業務請負。

売上高 **67** 億円 前期比 **3.0%** 減  
営業利益 **5** 億円 前期比 **1.7%** 増

[www.warabeya.co.jp/ir/library/result.html](http://www.warabeya.co.jp/ir/library/result.html)

もしくは → [わらべや日洋ホールディングス](#) 検索 [トップページ](#) [IR情報](#) [IRライブラリー](#)

次期の見通し / 2019年2月期連結業績予想

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	2019年2月期配当予想
2,246億円 (前期比2.5%増)	40億円 (前期比7.2%増)	41.5億円 (前期比3.1%増)	21.5億円 (前期比2.7%増)	1株につき <b>40</b> 円

わらべや 瓦版



東京都新宿区に  
本社を移転

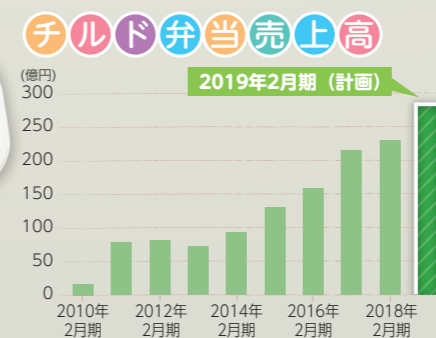


会議室には「おせち」「恵方巻き」「赤飯おむすび」など商品名を付けました。

**社員の憩いの場 11階「Wara Café」**

社員食堂「Wara Café」はお取引先との商談やランチミーティングにも活用しており、ご好評をいただいています。

今後の業容拡大に備えるとともに、グループ機能の集約により一層の業務効率化を進めるため、今年1月に東京都新宿区に本社を移転しました。特に商品開発に関しては、これまで3箇所に分散していた首都圏の開発拠点を集約し、商品開発と食材開発の緊密な連携により「商品開発力」の一層の強化につなげていきます。お取引先へのアクセス向上や1人あたりオフィス面積の増加など働きやすいオフィスであると同時に、ペーパーレス化や省エネ空調など環境にやさしいオフィスにもなっています。



**生産性向上に向けチルド弁当生産体制を強化**

チルド弁当の販売拡大に対応するため、相模原工場において新たな製造設備を導入しました。今後も堺工場、吉川工場、名古屋工場でチルド弁当製造設備の導入・増強を予定しており、生産体制の強化により供給エリアを拡大すると同時に多様化するお客様のニーズに応えてまいります。

新商品NEWS

お客様の健康志向に応えるおにぎり

もち麦もっちり！枝豆ごはんおむすび



価格：130円(税込)  
販売地区：全国

レタス約1個分の食物繊維入り！枝豆と小海老を使った、彩りが良く体にやさしいまぜ御飯おむすびです。

賞味期限を延ばしたサンドイッチ

シャキシャキレタスサンド



価格：257円(税込)  
販売地区：全国

ここがポイント！

小麦粉の配合を変えた新しい食パンと低温管理されたレタスを使い、パンのしっとり感とレタスのシャキシャキ感が向上。おいしさそのままに鮮度延長を実現しました。

輪らべやプロジェクト WARABEYA PROJECT

アスリート社員採用

社内コミュニケーションの活性化を目的とする「輪らべやプロジェクト」から取り組みを開始したアスリートの正社員採用。2017年4月新卒入社の山田はな選手(陸上競技)に続き、今年4月に利藤野乃花選手(陸上競技)が新卒入社しました。

当社では両選手のアスリートとしての活動を継続的にサポートしています。

業務をこなしながらも東京オリンピック出場を目指して日々練習に励む仲間の姿は従業員への刺激となり、また応援活動を通じて組織の一体感を高める機会にもつながっています。



持続的な企業価値の向上を目指して

わらべや日洋グループのESG※の取り組み

社会的責任の深化に向けて

「食」に携わる企業として、安全・安心の徹底に加えて、官公庁や地方自治体と連携して災害時の食料支援に積極的に取り組んでいます。

また、2020年の達成目標を掲げたアクションプラン[WAP2020]を策定し、全社的な活動としてダイバーシティを推進しています。多様な人材と多様な働き方に応える働きやすい会社づくりに取り組み、日々の事業活動を通じて社会に貢献する企業であり続けることを目指します。

**WAP2020**  
Warabeya Action Plan  
「多様な人材を適材適所に配置し、能力を最大限に発揮」

Women 女性の活躍  
World 世界各地からきた外国人の活躍  
We & Warabeya 性別、年齢、国籍関係なく私たちがわらべや社員としての活躍

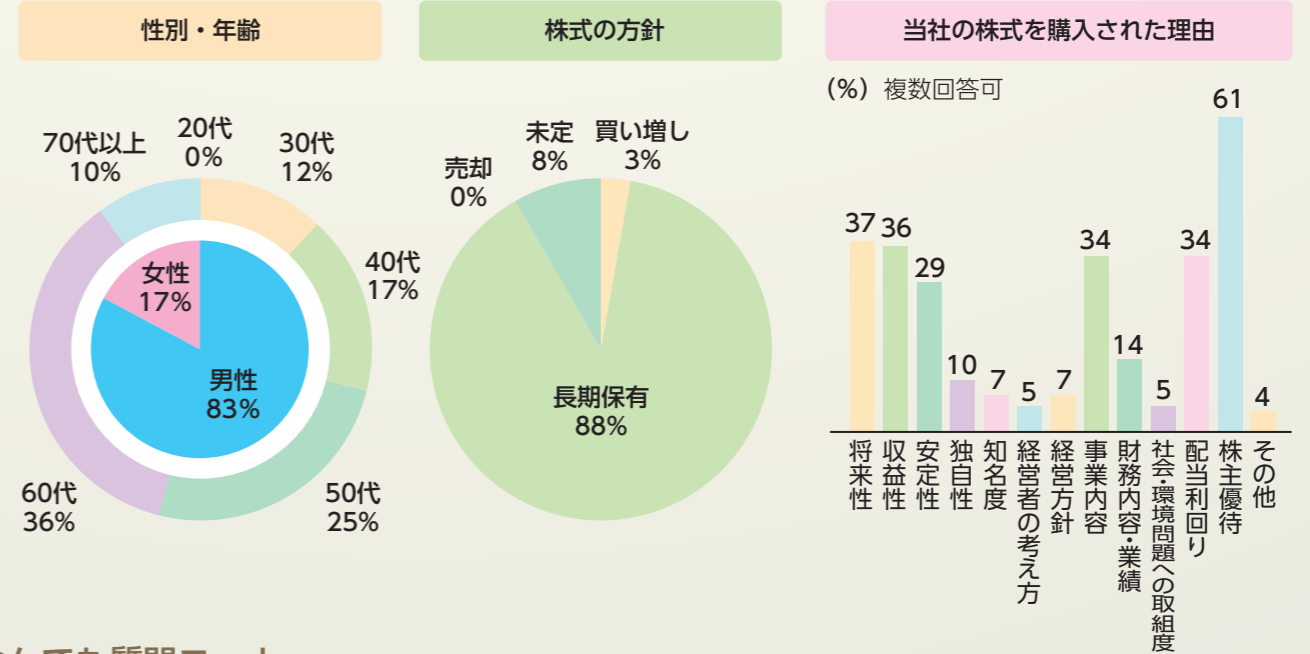
3つのW  
WAP2020

※ ESG(Environment Social Governance)とは… 環境、社会、ガバナンスの略

株主様 アンケート結果

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

第54期第2四半期株主通信でお願いいたしましたアンケートにつきましては、多数の株主様よりご回答を頂戴いたしました。ここにアンケートの集計結果の一部についてご報告いたします。当社では頂戴したご意見を真摯に受け止め、IR活動の参考とさせていただきます。今後ともアンケートへのご協力をお願い申し上げます。



なんでも質問コーナー

**Q 人材の確保について教えて欲しい。**

国内における新卒・中途採用に加えて、2010年から外国人採用を実施し、日本で学ぶ留学生や海外人材の採用にも力を入れています。

また、多様な働き方やワークライフバランスに応えるための人事制度拡充を進め、従業員の定着を図っています。

**Q 海外展開について教えて欲しい。**

2017年11月に米国テキサス州のプライム・デリ社を子会社化し、米国ハワイ、中国北京(合弁会社)と合わせて海外3工場体制となりました。

市場成長を期待できる米国、中国を中心に、今後も海外事業の拡大に取り組んでまいります。

ご意見・ご声援コーナー

これからもおいしく食べやすい製品を提供してください。

さらなる躍進を期待しています。

食品添加物を使わない安心な商品開発を今後も推進してください。

ますますのご繁栄をお祈りいたします。

安定を望んでいます。

おにぎりは絶品ですね。今後の商品開発にも期待しています。

ありがとうございます！

がんばります！





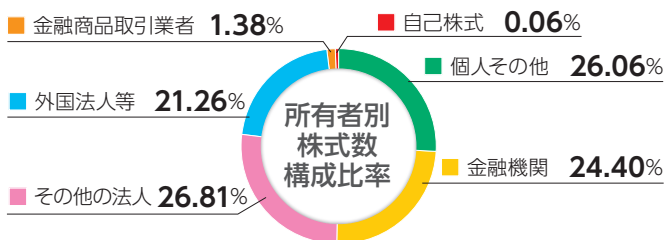
# 会社概要 (2018年2月28日現在)

## 会社概要

商号	わらべや日洋ホールディングス株式会社 (WARABEYA NICHIO HOLDINGS CO., LTD.)
設立	1964年3月18日
資本金	8,049百万円 東京証券取引所市場第一部上場
従業員 (連結)	社員2,185名 臨時従業員13,103名(1日8時間労働換算)
グループの 主な事業内容	調理済食品の製造、販売 食品用材料の仕入、加工、販売 食品関係の配送 食品製造設備などの販売 人材派遣および業務請負
発行可能株式総数	55,000,000株
発行済株式の総数	17,625,660株
株主数	9,920名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	2,195	12.45
株式会社大友アセットマネジメント	1,350	7.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,121	6.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	564	3.20
大友 啓行	520	2.95
わらべや日洋共栄会	492	2.79
株式会社三菱東京UFJ銀行	480	2.72
大友 恭子	283	1.60
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	276	1.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	250	1.42



## 株主メモ

事業年度	3月1日から2月末日まで
配当金受領株主確定日	期末配当金 2月末日
定時株主総会	5月
定時株主総会の 基準日	2月末日(定時株主総会において議決権を行使すべき株主の確定日) なお、その他必要ある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	<a href="http://www.warabeya.co.jp/ir/accounting.html">http://www.warabeya.co.jp/ir/accounting.html</a>
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日綱町1-1 電話0120-232-711(通話料無料)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## 株主優待のお知らせ

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された株主の皆様に対し、以下の基準により年1回5月下旬に「QUOカード」を贈呈。



### 100株～1,000株未満

100株以上1,000株未満所有の株主様には1,000円相当の「QUOカード」を1枚贈呈



### 1,000株～

1,000株以上所有の株主様には5,000円相当の「QUOカード」を1枚贈呈

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。  
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900(平日 10:00～17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 2918

いいかぶ 検索

✉ 空メールにより URL自動返信 kaba@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

## わらべや日洋ホールディングス株式会社

〒162-8020 東京都新宿区富久町13番19号  
TEL:03-5363-7010(代表)  
<http://www.warabeya.co.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C013080